

2025(R7)年 1月25日(土) 青梅の森

- 参加者 1班：NA 班長 11名 2班：HS 班長 4名 合計 15名
- 活動場所 青梅の森 D1
- 活動時間 9時～15時00分 天候 晴れ 8℃
- 活動概要 北の入周辺の景観向上を目的として整備を行った。

2024年4月にも実施しており時間の経過とともに傾斜した立木や枯損木も見られるため実施。特に沢筋を上流から見た時に右岸は急傾斜地で手入れが十分ではなく、除伐対象の草木も多い。春から秋にかけては入ることも困難だった。草木も少なくなる冬は中に入り立木の伐倒が実施可能になった。左岸も河床の泥で足場が悪く作業を困難にさせるが、乾燥したこの時期は、広範囲に入り込み作業を行い易い環境となっている。

手工具で伐倒を行う1班とチェーンソーを利用する2班に分かれてそれぞれ実施した。合わせて遊歩道を塞いでいた倒木の除去も合わせて実施した。

4月の時点では完了していなかった風倒木がかかり木になっていた。かかり木をロープで固定し落下の防止を行う安全対策をしてから伐倒を行うなど工夫をした。また伐倒における体勢の悪さの改善として傾斜地に周囲の丸太を利用した足場を作成して作業者の転落の防止を行った。傾斜地の足場作成やロープ固定方式は今後の傾斜地作業のノウハウの一つになった。

北の入の整備の残課題として、まだ残るかかり木処理や下刈りの継続がある。



玉切りと整備作業（1班）



イヌシデの伐倒（1班）



冬の木漏れ日 昼食時間にて



傾斜し難しい地形（2班）



傾斜した立木の伐倒（1班）



景観整備を実施した作業後の状況



活動エリア		面積 [㎡]	活動		担当班	人数	
D1		200	笹の下刈り、立木の伐倒、玉切り		1	10	
D1		80	傾斜木の伐倒、玉切り		2	4	
合計		280				14	
樹径 (cm)	樹高 (m)	樹種		本数	作業	主道具	備考
16-20	15-18	ヒノキ、スギ（風倒）		2	伐倒、玉切り	手工具	
20-40	20	サクラ（傾斜）、コナラ（風倒）		2	伐倒、玉切り	動力	
15-40	10-20	イヌシデ（傾斜）		5	伐倒、玉切り	動力, 手工具	

(注) 樹径、樹高は計測 樹径 10cm 以下はカウント対象外